

# Let's 居住地校交流



「居住地校交流」とは、本校の児童生徒(希望者)が、自分が住んでいる地域の小・中学校に出向き、同年代の友達と一緒に学習する交流及び共同学習です。

地域での人間関係を広げ、豊かに暮らしていくことをねらいとしています。



令和5年9月  
将軍野中学校にて

3年生のNさんが、道徳科「金の斧 ～『誠実』の意味～」の学習に参加しました。イソップ童話「金の斧 銀の斧」を一部改変した物語を読み、「誠実」の意味について考えました。



来校直後のNさんを見つけた途端、多くの友達が「久しぶり!」と声を掛けてくれ、Nさんの緊張や不安も一気に和らぎました。おかげで、久々の再会ながら、自然な流れでクラスに溶け込むことができていました。

## (学習について)

登場人物の心情や行動の違いを読み進めたり、グループで意見交換したりしながら、自分の意見をまとめました。

多様な意見に触れることで、新たな考えにも気づきました。Nさんも意見を求められ、自分の意見を発表し、拍手をもらうなどして交流が深まりました。



## (将軍野中学校の先生より)

Nさんの明るい表情に吸い寄せられるように、本校生徒も明るく接して和やかな輪ができていたことに感動しました。天王みどり学園に関する説明や、Nさんの分かりやすく堂々とした発言など本校生徒にとってもよい学びのひとつとなりました。

